

夏休み企画展「探検！大田原の遺跡～浅香内遺跡群～」のご案内

会期 7月21日(土)～8月26日(日)
 開催場所 大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館
 観覧料金 一般100円、学生50円
 中学生以下は無料
 休館日 月曜日
 ※各風土記の丘資料館の観覧料で、当日限り両資料館とも観覧できます。
 問い合わせ 大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館
 ☎0287-98-3322 FAX0287-98-3323

下水道排水設備工事責任技術者更新講習会のお知らせ

日時 9月9日(日)午後2時～4時
 9月20日(木)午後2時～4時
 場所 宇都宮市東市民活動センター
 申込期間 7月2日(月)～31日(火)
 対象者 現在この資格を有し、有効期限が平成25年3月31日までの方
 問い合わせ 公益財団法人とちぎ建設技術センター 研修課
 ☎028-626-3187

栃木県立県北産業技術専門校 訓練生(10月コース)募集

◆訓練科・定員・訓練期間

科名	定員	訓練期間
機械加工科	5名	平成24年10月5日～平成25年3月22日(6ヶ月間)
NC機械科	10名	
観光サービス科	10名	

◆募集期間 8月1日(水)～8月24日(金)
 ◆入校選考 9月7日(金) 適性試験、面接、志願理由書
 ◆訓練対象者 求職活動をしている方、新たな職業に就こうとしている方
 ◆応募手続き 住所地の公共職業安定所(ハローワーク)にお申し込みください。
 ◆問い合わせ 栃木県立県北産業技術専門校 職業能力開発担当
 ☎0287-64-4000

県立なす風土記の丘資料館 夏休みミニ企画展およびイベントのご案内

●夏休みミニ企画展「弓矢の歴史」
 縄文時代から現代まで、狩猟具や武器など様々な用途に使われてきた弓矢の歴史を、那須にまつわる出土品とともに分かりやすく紹介します。
 会期 7月21日(土)～8月26日(日)
 場所 県立なす風土記の丘資料館
 観覧料金 一般100円、学生50円、中学生以下は無料
 休館日 月曜日
 ●土器をつくろう!
 日時 7月22日(日) 午前9時～正午
 定員 20名(土器焼きにも参加できる方)
 参加費 無料
 内容 本物の縄文土器をお手本に土器をつくります
 ●土器を焼こう!
 日時 8月26日(日) 午前9時～午後4時
 対象 7月22日の土器づくり参加者
 参加費 無料
 内容 乾かした土器を野焼きで焼きあげます
 ●弓矢をつくろう!
 日時 8月5日(日)・19日(日) 午前9時～正午
 定員 各日20名 参加費 無料
 内容 石の矢じりと矢・弓をつくり、試し打ちをします
 ※イベント会場は県立なす風土記の丘資料館です。
 ●県内史跡見学会
 日時 7月29日(日) 午前8時30分～午後5時
 定員 50名 参加費 1,000円
 内容 栃木県南地域の大型古墳などを巡ります
 集合場所 県立なす風土記の丘資料館
 申し込み・問い合わせ 栃木県立なす風土記の丘資料館 那須郡那珂川町小川3789
 ☎0287-96-3366 FAX0287-96-3340
 URL <http://www.nasufudoki.com/>

住民基本台帳カード(住基カード)をご利用ください

住民基本台帳法の一部改正により、住民票の交付請求などの際に、窓口で本人確認を厳格化しています。また銀行などの金融窓口でも、本人確認を求められる場合があります。
 「写真付き住基カード」はこのようになさざまな手続きで運転免許証と同様に公的な身分証明として利用できます。また、確定申告などの電子申請(e-Tax)の際に必要な電子証明書を組み込むことができます。
 ○手数料 住基カードの交付 500円(電子証明書発行は別途 500円)
 ○その他 住基カードの有効期限は10年(電子証明書の有効期限は3年ですが、住所や姓に変更が生じた場合失効しますので改めて発行手続きが必要です。)
 問い合わせ 住民生活課 ☎0287-92-1112



※住民基本台帳カード総合情報サイトより引用

第35回小学生公園絵画展 作品募集のお知らせ

応募資格 県内の小学校に在籍する児童
 応募規程
 ・(題材) 公園に関するもの
 ・(大きさ) 四つ切の画用紙
 ・(彩色方法) 自由
 ・作品は未発表のものに限る
 応募期間 7月20日～9月6日
 応募上の注意 応募は、在籍している学校を通して提出してください。
 送り先・問い合わせ 〒321-0152 宇都宮市西川田4-1-1 栃木県公園事務所総務課 ☎028-658-0128

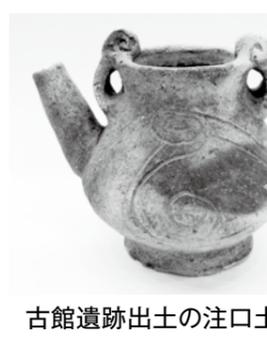


今から約二万二〇〇〇年前、縄文土器が使われる縄文時代が始まりました。縄文土器については、このコーナーでもたびたび紹介しています。土器をさせるようになったことで、人々の食生活は大きく変わり、生活も向上していきま

た。これら縄文土器の種類には、深鉢、浅鉢、壺、皿など、時期や目的に応じたさまざまな形が見られます。もともと多く見られるのは「煮炊き」を行ったと考えられる深鉢です。今回は、それらの土器の中から注ぎ口を持ち、特徴的な形をした「注口土器」を紹介したいと思います。

注ぎ口を持つ土器は、大きくわけて片口形と注口形の二種類があります。小さな片口が付く土器は、すでに草創期(約二万二〇〇〇～九〇〇〇年前)に出現しています。前期(約七〇〇〇～五〇〇〇年

前)には、深鉢に片口状の注ぎ口を付けた土器が見られます。現在の片口鍋のような形のもので、中期(約五〇〇〇～四〇〇〇年前)には注ぎ口の付いた深鉢や浅鉢が出現します。壺形のもの、瓢箪形のものもみられます。後期(約四〇〇〇～三〇〇〇年前)以降には、土瓶や急須に似た形の注口土器が北海道から九州まで全国的に広がります。特に東北地方、関東地方で盛んにつくられました。そのなかには美しい装飾を施したもので、漆が塗られたものなどもあります。



古館遺跡出土の注口土器

(馬頭郷土資料館 学芸員 金子智美)

7月1日現在の人口 (住民基本台帳)

男	9,389人 (-8)
女	9,304人 (-17)
計	18,693人 (-25)
世帯数	6,111 (-4)

()内は前月との比較



うぶいえ (氏名) (父母の名) (住所)

宮下 愛梨	平野 友彬	高堀 優衣	大金 蓮	板山 蒼空
千尋	忠興	充保	貴敏	真美
小川	小川	久那瀬	馬頭	馬頭

おくやみ (氏名) (年齢) (住所)

高野 雅文	石田 照雄	芝野 照雄	村田 カネ	磯野 スミ	東 高子	車 ツル	笠井 ミツ	星 一郎	須賀 フジエ	藤田 フク	大野 ヒサ	大森 武	齊藤 ミネ	笹沼 ミツエ	小泉 敏明	橋本 テル子	山田 烈	船見 静	山口 光政	仁平 千代吉	蘭部 トミ	薄井 優	鈴木 俊男	岸 一重	金井 フミ	掲載は希望者のみです。	
(75)	(80)	(80)	(63)	(85)	(72)	(91)	(103)	(76)	(88)	(89)	(87)	(61)	(68)	(86)	(64)	(70)	(71)	(89)	(71)	(87)	(87)	(87)	(76)	(89)	(79)	(80)	
馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	

4月21日～5月20日 敬称略